



子ども

やっさもっさ

新聞 第10号

「夢がかなうといいな!」神明市でだるま行列

三原小学校3年生が貼り子だるま面相書き

総合的な学習の時間の「地域の学習」として、「第4回 復興! 三原だるま」に取り組む三原市立三原小学校。三原神明市を前にした1月23日、だるま作りで一番難しい顔の面相書きにチャレンジする3年生のみんなに突撃インタビューしてきました。



体育館に集合したみんなを前に、まず初めに三原だるま保存育成会の代表、鳥生悦郎さんが、三原だるまについて「頭のハチマキは、何事も頑張る。初めから目が入っているのは先を見通せる。振ると音が鳴るのは、願いがかなうように。そして何度たおれても起き上がる、という4点が特ちょうです」と説明。続いて面相書きのコツとして「眉毛、目、鼻、口、ひげを大きく描いて下さい」と説明されました。思い思いにだるまの顔を描いた3年生のみんなは「ひげが難しかった」「目のまわりを太く描くのが難しかったです」「だるまの特



ちょうの怖い顔を描こうと頑張りました!」と感想を話してくれました。

シンボルの大きな神輿だるまには、みんなが夢や目標を書き入れました。「人の気持ちがわかる人になれるように」「今年野球でレギュラーがとれますように」「スタメンに出てヒットが打てますように」「今年1年元気で過ごせますように」などの願いごとが。きっとかないますよ!

子どもやっさもっさ新聞では、三原を盛り上げるみんなの取り組みを取材し、紹介していきます。

そして当日!だるまになって大行進

三原神明市に笑顔と歓声

2/9

いよいよ本番の2月9日。貼り子だるまになりきったみんなは、神明市の通りを練り歩きました。行列を囲んだお客さんは大喜び。笑顔で拍手を送っていました。みんなの願いごと、かなえてあげてね!



月刊 みはら ニュース

三原とだるま?

みんな、三原神明市は行ったかな? 神明市
といえば、三原のシンボル「だるま」が有名だ
ね。ところで「三原」と「だるま」っていったい
どんな関係があるのかな?

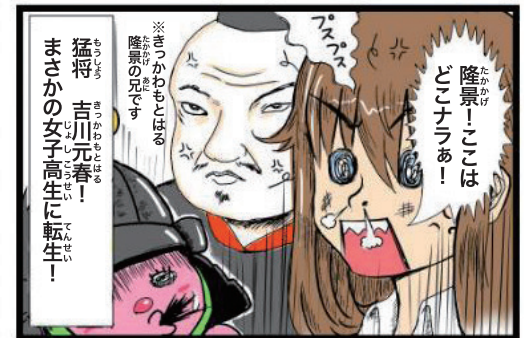
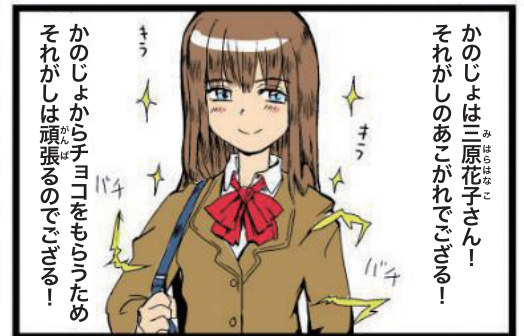
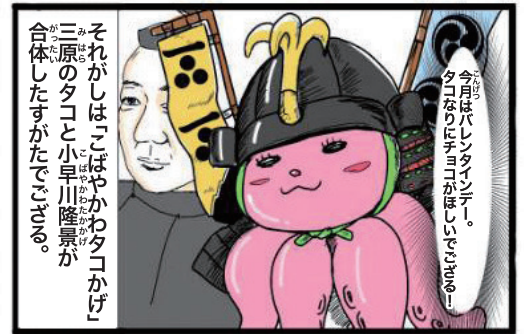


正式にはわかっていないけれど、江戸時代末期から三原神明市で縁
起物としてだるまが売られ、「だるま市」と呼ば
れるように。東町に上がる大だるまは、もとも
と「だるまくじ」を販売する目印だったんだって。
今年三原市公式キャラクター「やっさだる
マン」をテーマにした、三原 築城450年記念
映画も公開されたので、ますます三原とだるま
のつながりが強くなるかもね。



三原市非公認キャラクター その1
たっかげくん

【作】怪人ふくふく



掲載されたあなたは、なんと三原テレビに出演できます!
新コーナー【まち自慢!ミハラ映え】スタート

次号からあなたの好きな三原の景色・
人・もの等々の写真を紹介する新コー
ナ【まち自慢!ミハラ映え】が始まります。
三原の自慢したいところを撮影して、編
集部までメールで送ってください。



三原の魅力あふれる場
所の写真をデジカメや
スマホで撮影! → 写真データを添付したメールに①自
慢したい理由②あなたの住所③電話
④氏名⑤学校⑥学年を記入 → またはQRコードから
送信



編集部で選んで、毎号1枚を掲載します。
みんなどしどし送ってきてね、待ってるよ!



保護者のみなさまへ
ご存知ですか「三原青年会議所」

「明るい豊かな社会の実現」を目指
すべく、20歳~40
歳の青年が集い
青少年育成事業やリーダー育成のため
の研修事業などの活動を行なってい
るまちづくり団体です。



三原青年会議所
やっさもっさ
チャンネル
絶賛
放送中
毎月最終週の1週間三原
テレビ放送で放送して
おります。三原青年会議所
公式ホームページからも
ご覧になれます。

【お問い合わせ】
一般社団法人 三原青年会議所
TEL 0848-63-3515
FAX 0848-62-1141
info@mihara-jc.com
三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所2階
三原青年会議所 検索



子ども

やっさもっさ

新聞 第11号

南小学校 吹奏楽クラブ

「思いよ届け南の輝くハーモニー」 ウインター・コンサートであたたかい音色

三原青年会議所では、積極的な活動で地域を盛り上げている小学生、中学生を紙面に取り上げています。今月は、南小学校吹奏楽クラブの皆さん取材させていただきました。

2月18日(日)、三原市円一町のフジグラン三原を会場に、今年で4回目となる南小学校(円一町)吹奏楽クラブの「ウインター・コンサート」が行なわれました。

4年生から6年生の33名で構成された吹奏楽クラブは、運動会や学校の式典、地域の行事などに参加して演奏活動をしています。みんなで考えたスローガン「思いよ届け南の輝くハーモニー」を唱和して、チームの結束を高めています。

当日の「ウインター・コンサート」では、多くのお客様に囲まれて、日頃の練習の成果を披露。プログラムは①ひよっこりひょうたん島②Shake It Off③パート紹介④花は咲く⑤パイレーツ オブ カリビアンでした。アンコールの上を向いて歩くうでは、集まった多くの方が手拍子をおくりながら歌詞を口ずさみ、和やかな雰囲気になりました。



6年生で部長の松本さんは「聞いて下さる皆様に思いを届けることができるよう、一生懸命心を込めて演奏します」と力強く挨拶してくれました。



演奏後、インタビューに答えてくれた部員の1人は「緊張したけど、みんなの思いを1つに演奏できました。もっと演奏を聴いてもらえる機会を増やしていきたい」と今後の意気込みも話してくれました。

輝くハーモニーでわたしたちに感動を与えてくれる南小学校吹奏楽クラブの皆さんの今後の活躍も期待しています。

月刊 みはら ニュース 100回目はだか祭り!!

毎年2月の第3土曜日に三原市久井町で開催されている県内唯一の祭り「はだか祭り」を知ってますか?久井稲生神社で大正8年(1919年)より毎年開かれ、今年も2月17日に開催。なんと100回目を迎えました。参加すると無病息災と言われ、参加者は300~400人。県内外はもちろん海外からのチームも。昨年はお笑い芸人のザブングルも参加したみたい!



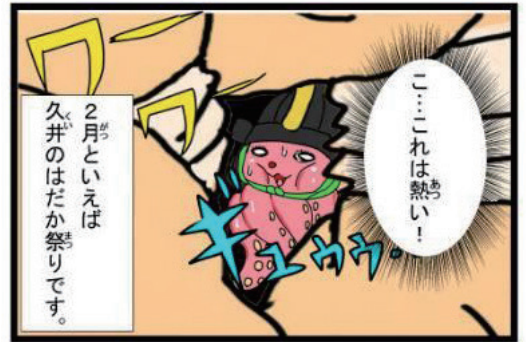
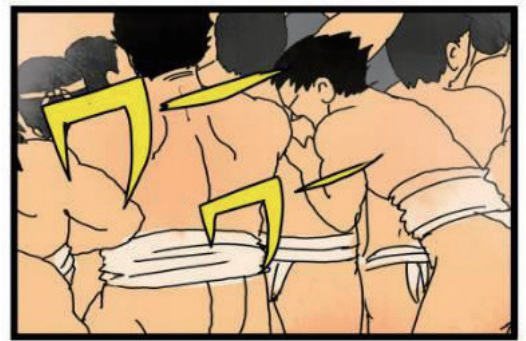
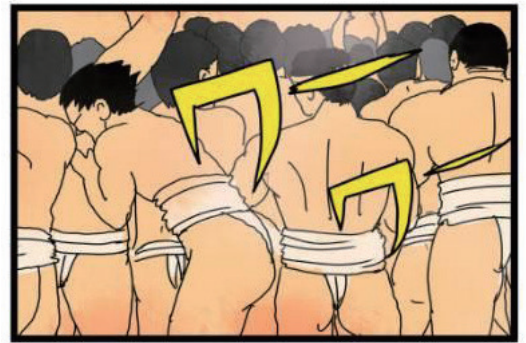
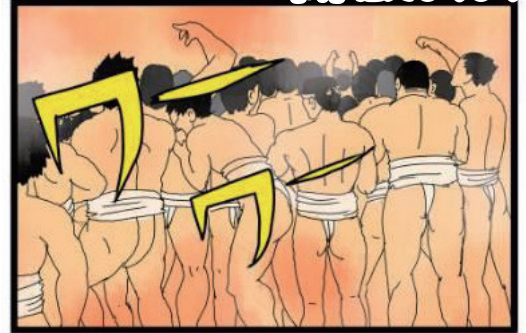
みんなで御福木を奪い合う祭りで、この御福木は縁起物。家の神棚に飾ると1年間、家に幸福がもたらされるそうです。御福木を取った人は取得者と呼ばれますが、審判の所まで持っていき認定してもらわないといけないそうです。こんなルールがあったんですね!

来年、幸福をつかむ取得者はだれかな?

三原の知ってるようで知らない歴史や魅力はまだまだ沢山ありますね。

三原市非公認キャラクター その2 かつかけくん

【作】怪人ふくふく



掲載されたあなたは、なんと三原テレビに出演できます!

【まち自慢!ミハラ映え】 写真募集中!

今回は第二中学校3年生、片岡佑馬くんの作品「海やヨットや港や町が見える風景」です。
「三原市には、港・空港(新幹線が停まる)駅があります。とても便利な町です。僕は、海やヨットや港や町が見える、この景色が大好きです。休日には写真を撮りに行くのが楽しいです。だって。ステキな写真だね!



三原の魅力あふれる場所の写真をデジカメやスマホで撮影 → 写真データを添付したメールに①自慢したい理由②あなたの住所③電話番号④氏名⑤学校⑥学年を記入 → info@mihara-jc.com またはQRコードから送信



編集部で選んで、毎号1枚を掲載します。
みんなどしどし送ってきてね、待ってるよ!



保護者のみなさまへ ご存知ですか「三原青年会議所」

「明るい豊かな社会の実現」を目指すべく、20歳~40歳の青年が集い青少年育成事業やリーダー育成のための研修事業などの活動を行なっているまちづくり団体です。



三原青年会議所 やさもっさチャンネル 絶賛放送中

毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になれます。

【お問い合わせ】
一般社団法人 三原青年会議所
TEL 0848-63-3515
FAX 0848-62-1141
info@mihara-jc.com

三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所2階
三原青年会議所

検索



子ども

やっさもっさ

新聞 第12号

幸崎中学校 郷土芸能班

「伝統受け継ぐ」獅子太鼓 40年以上 毎週水曜日昼休憩に太鼓や笛など練習

三原青年会議所では、積極的な活動で地域を盛り上げている小学生、中学生を紙面に取り上げています。今回は、3月24日(土)の幸崎能地春祭りに向けて、伝統の獅子太鼓を練習している幸崎中学校郷土芸能班の皆さんを取材させていただきました。



幸崎中学校郷土芸能班は、広島県の無形文化財に指定されている獅子太鼓を40年以上にわたって受け継いできました。毎週水曜日の昼休憩に行われる練習で、先輩から後輩へと指導されています。役割は、太鼓の前打ち、



後ろ打ち、チャンギリ、篠笛、獅子舞の5つで、38手の打ち手を演奏します。幸崎能地春祭りでは、奉納されるほか、入学式や地域での演奏活動をされています。部長の津口くん(3年生)は「伝統の獅子太鼓をしっかり受け継いでいきたい。練習の成果を本番で発揮できるよう頑張ります」と意気込みを話してくれました。

そして当日!獅子太鼓奉納 幸崎能地春祭りでは「練習の成果発揮」

そして当日!獅子太鼓奉納

3月24日、25日に三原市幸崎町で開かれた「能地春祭り」の初日、獅子太鼓が奉納されました。クラブのみんなは「練習の成果を發揮できた」「地域の一員としてお祭りを盛り上げることができて良かった」と喜び、「長く続く伝統をこれからも大切に引き継ぎたい。頑張ります」と決意を新たにしていました。

幸崎能地春祭り「練習の成果発揮」



このお祭りは、昔から漁業で栄えた幸崎町能地地区で行われる、豊漁を願う春祭り。迫力あるふとんだんじりのぶつかりあいと獅子太鼓が見どころ。地域を離れた人もこの時は帰ってきて祭りを盛り上げる、郷土愛や地域への誇りを高める大変素晴らしいお祭りです。

月刊 みはら ニュース

ふでかげやま 筆影山のサクラ

瀬戸内海国立公園の筆影山。筆影山の名称は、山の形が海に映ると筆のように見えるということから、江戸時代後期の詩人・頼山陽が命名したといわれています。今年も約2,000本のサクラ「ソメイ



ふでかげやま 筆影山からの多島美

ヨシノ」が山全体に咲き乱れました。標高311mで山頂には展望台があります。瀬戸内海の多島美と美しいサクラは、ここでしか見ることのできない絶景です。来年もまた美しい花を見せてくれることでしょう。



きれいな道ができました!

昨年3月には隣の竜王山へ上る道路、竜王みはらしラインも開通しました。みんなも登ってみよう!

三原市非公認キャラクター その3 タコかげくん

【作】怪人ふくふく



掲載されたあなたは、なんと三原テレビに出演できます!

【まち自慢!ミハラ映え】

写真募集中!

今回は沼田東小学校6年生、森岡陽星さんの作品「白竜湖花火大会イン大和」です。今年4月7日に開催され、「広島県で一番早く見ることのできる花火大会」と話題になっていますね。



三原の魅力あふれる場所の写真をデジカメやスマホで撮影 → 写真データを添付したメールに①自慢したい理由②あなたの住所③電話番号④氏名⑤学校⑥学年を記入 → info@mihara-jc.com またはQRコードから送信



編集部で選んで、毎号1枚を掲載します。みんなどしどし送ってきてね、待ってるよ!



次号は 木原小学校が取り組む スナメリプロジェクト お楽しみに!

保護者のみなさまへ ご存知ですか「三原青年会議所」 「明るい豊かな社会の実現」を目指すべく、20歳~40歳の青年が集い青少年育成事業やリーダー育成のための研修事業などの活動を行なっているまちづくり団体です。



毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になれます。

【お問い合わせ】 一般社団法人 三原青年会議所

TEL 0848-63-3515 FAX 0848-62-1141 info@mihara-jc.com

三原市皆実4丁目8-1 三原商工会議所2階

三原青年会議所 検索



子ども

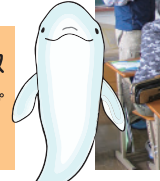
やっさもっさ

新聞 第13号

木原小学校 スナメリプロジェクト

「木原の海 スナメリ戻って」 環境学習や調査4年目

三原青年会議所では、積極的な活動で地域を盛り上げている小学生、中学生を紙面で取り上げています。今回は、海を豊かにしてスナメリが戻ってくる環境をつくる「スナメリプロジェクト」に取り組んでいる木原小学校の皆さん取材させていただきました。



「4、50年前までいたスナメリを木原の海に戻したい」という生徒の声からスタートし、今年で4年目。木原小学校の5、6年生が総合的な学習の時間で木原の海を調査し、アマモを増やす活動に取り組んでいます。「海のゆりかご」と呼ばれるアマモが増えれば海

が豊かになり、魚が育つえさ場、卵を産む場所、敵から身を守る隠れ家の役割をしてくれます。将来、木原の海にスナメリが戻ってきた時、「自然環境が改善された」ということにつながります。

? アマモとは…海の中に生える海草の一種で、種子植物。



鯨島で生き物と水質を定期調査

4月27日の授業の先生は(一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会の上嶋英機理事長。豊かな海だった瀬戸内海は、海の砂を取ることで環境が変わってしまったこと。高速艇の往来でスナメリが犠牲になってしまったこと…。午前中は、瀬戸内海の自然環境の変化について勉強しました。

午後は船で木原沖の無人島「鯨島」へ。今年から赤と白の柵を使う「コドラート」という方法で生き物を調査します。3つの地点で季節ごとに、柵の中にどんな生き物がどのくらいいたかを調査し記録します。水質調査では透明度や塩分濃度、水温、酸素の消費量を調査。定期的な

生物調査と水質調査で木原の海を知り、新たな課題発見につなげます。

この日は「カキやイソギンチャク、イボニシ貝などいろんな生物を発見できた」「木原の海を少しでも豊かにしていきたい」という感想が聞かれました。

三原の海辺も多くはコンクリートでおおわれ、自由に遊べる海岸は減っています。三原青年会議所が昨年10月に開いた講演会「海ってる

まちMIHARA～私たちの海は魅力がいっぱい～」を企画したきっかけでもある「スナメリプロジェクト」から、地域の海や環境のことをもう一度考え直したいですね。



昨年の事業です

月刊 みはらニュース ぬたがわ 沼田川クリーンキャンペーン

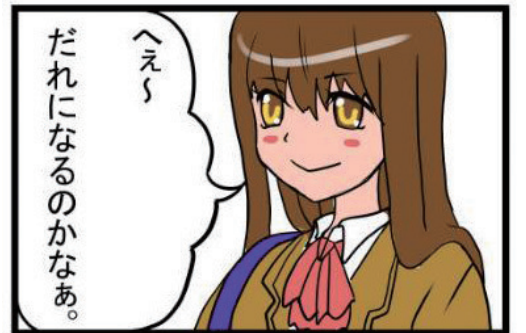
4月22日に、私たち三原青年会議所のメンバーは沼田川クリーンキャンペーンに参加してきました。このキャンペーンは三原市内のいろんなグループと一緒に沼田川の掃除に取り組むもので、三原青年会議所も毎年参加しています。年に1回開催されており、今年で21回目になります。今年も河川敷には大量のゴミが捨てられているのを見て、悲しい気持ちになりました。

残念ながら、三原やっさ祭りなどでも道端にゴミを捨てる人もいます。郷土を愛する心は清潔な環境から育まれます。まずは身の回りの整理整頓といった小さなことから始めてみよう。



三原市非公認キャラクター 4 かつかけくん

【作】怪人ふくふく



※小早川隆景は1533年うまれた!

2018年 キャンペーンテーマ決まる
第43回 三原やっさ祭り 山伊勢蒼人くんの作品
轟けやっさ 常笑魂451年 レッツ エキサイティング!

8月10日(金)11日(土)12日(日)開催の「三原やっさ祭り」キャンペーンテーマは久井中学校・山伊勢蒼人くんの作品に決まりました。今年もやっさを踊りに来てネ! 遊びに来てネ! 私たち三原青年会議所も、1976年から毎年お祭りに協力しています。

掲載されたあなたは、なんと三原テレビに出演できます!
【まち自慢!ミハラ映え】 写真募集中!

三原の魅力あふれる場所の写真をデジカメやスマホで撮影 → 写真データを添付したメールに①自慢したい理由②あなたの住所③電話番号④氏名⑤学校⑥学年を記入 → またはQRコードから送信

info@mihara-jc.com

編集部で選んで、毎号1枚を掲載します。みんなどしどし送ってきてね、待ってるよ!

次号は 鷺浦小学校が取り組む 英語の特別授業 楽しみにも!

保護者のみなさまへ

ご存知ですか「三原青年会議所」

「明るい豊かな社会の実現」を目指すべく、20歳~40歳の青年が集い青少年育成事業やリーダー育成のための研修事業などの活動を行なっているまちづくり団体です。

三原青年会議所 やっさもっさチャンネル 絶賛放送中

毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になれます。

【お問い合わせ】
一般社団法人 三原青年会議所

TEL 0848-63-3515
FAX 0848-62-1141
info@mihara-jc.com

三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所2階

三原青年会議所 検索



子ども

やっさもっさ

新聞 第14号

鷺浦小学校 充実の英語教育

将来は世界を相手に 11名の少人数校 英語が飛び交う運動会!?



鷺浦小学校は、三原港から船で15分の佐木島にある小学校です。子ども達を「郷土の宝」の原石ととらえ、自分らしさを発揮しながら、将来社会で活躍できる力を身につけようと「原石磨き」と称して特色ある教育活動を行なっております。今月は、ALT(外国人英語指導助手)と共に過ごし英会話力向上を目指す同校の「第24回鷺浦小学校・鷺浦町合同運動会」取材させていただきました。



学校には島内から5名、島外から6名の11名が通学。2002年に特認校に指定され学区以外から子どもを受け入れています。特色ある教育で世界につながる島にしようと、2016年から教育委員会の支援で、週5日のうち4日は、ALTと共に学校生活を送りながら学んでいます。授業以外の時間も英語があふれており、例えば運動会での「英語で挑戦! 借り物競争」は、代表的なプログラムの一つになっています。多くの注目を集める中マイクを使って堂々と英語でコミュニケーションを繰り返し伝える子ども達の姿に、集まった大



人たちは歓声をおくっていました。新山欣二校長先生は「英語教育の強化で、子ども達も楽しく英語を話せるようになってきた。将来は世界を相手に活躍してほしい」とお話しいただきました。



鷺浦小学校は、英語教育の充実や島の自然・人・文化や歴史を生かした多様な体験活動など、少人数でも他にはない教育の取り組みがありました。トライアスロンのイベントなどで海外からの訪問者も増え、そのガイドを鷺浦小学校の「さぎっこ」たちが引き受ける日も近いのではと今後の活躍を期待しています。

月刊 みはら ニュース 三原市について知ろう!

第27回三原さつき祭りが5月26・27日に開催されました。この「さつき」は、三原市の市花に指定されています。三原市は、市花以外にも市木やイメージカラーを指定しています。ちなみに市木はくすのき、市のイメージカラーはディープブルーと指定されています。また、市のマーク(市章)もよく目にしますよね。市章は、三原市の「三」をモチーフとしてデザインされており、一番上の線は雄大な大空を、真ん中の線は山々や豊かな大地を、一番下の線は瀬戸内海を、3つの円は水しぶきを表現しています。自然に恵まれ、歴史や文化と共存し、人々のふれあいを大切に、希望に満ちた明るい活力ある未来へ向かって大きく飛躍する海・山・空、そして夢ひらくまちをイメージしているそうです。こうして調べてみるといろいろなことに気付くことができます。皆さん、まずは身近なものに興味を持って調べてみると、いろんな発見があるかもしれませんね。

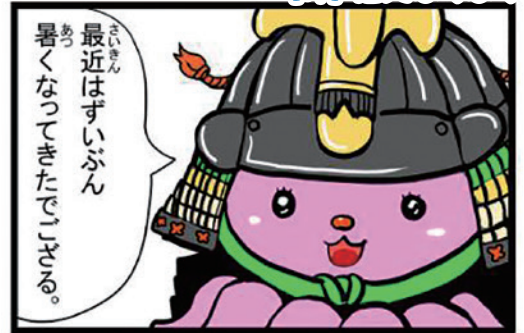


一番上の線は雄大な大空を、真ん中の線は山々や豊かな大地を、一番下の線は瀬戸内海を、3つの円は水しぶきを表現しています。自然に恵まれ、歴史や文化と共存し、人々のふれあいを大切に、希望に満ちた明るい活力ある未来へ向かって大きく飛躍する海・山・空、そして夢ひらくまちをイメージしているそうです。こうして調べてみるといろいろなことに気付くことができます。皆さん、まずは身近なものに興味を持って調べてみると、いろんな発見があるかもしれませんね。

皆さん、まずは身近なものに興味を持って調べてみると、いろんな発見があるかもしれませんね。

三原市非公認キャラクター 5 つかけくん

【作】怪人ふくふく



ミスやっさからみんなにメッセージ

8月10日(金)11日(土)12日(日)の第43回三原やっさ祭りのミスやっさに選ばれた湯浅希望さん(左)と吉原三琴さん(右)から、読者の皆さんにメッセージが届いています。2人を見かけたら声をかけてくださいね!

三原市のお祭りに積極的に参加して三原をもっと好きになって下さい。(湯浅)

皆さんの笑顔で今年のやっさ祭りも盛り上げていきましょう!(吉原)

次号は 三原小学校が取り組む やっさ祭り「三原レインボー隊」ほか お楽しみに!

保護者のみなさまへ

ご存知ですか「三原青年会議所」

「明るい豊かな社会の実現」を目指すべく、20歳~40歳の青年が集い青少年育成事業やリーダー育成のための研修事業などの活動を行なっているまちづくり団体です。

三原青年会議所

やっさもっさチャンネル

絶賛放送中

毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になれます。

【お問い合わせ】

一般社団法人 **三原青年会議所**

TEL 0848-63-3515
FAX 0848-62-1141
info@mihara-jc.com

三原市皆実4丁目8-1
 三原商工会議所2階

三原青年会議所 **検索**

三原小学校 レインボー隊

リズムに合わせ やっさ踊り 練習一生懸命に 前年は子どもやっさ大賞に輝く

第43回三原やっさ祭りは、豪雨災害のため、11月3日(土)、4日(日)に開かれることになりました。やっさ踊りは室町時代に小早川隆景公が三原城を築いた際、みんなが三味線や太鼓を鳴らし、思い思いに歌いながら踊り祝ったことが始まりとされています。昨年度の子ども部門で子どもやっさ大賞を受賞した三原小学校レインボー隊の練習を取材させていただきました。



昨年の第42回三原やっさ祭りの子どもやっさ部門に出場したのは小中学校13チーム・約1,000人。その中から見事大賞に選ばれたチームが三原小学校レインボー隊です。

三原小学校レインボー隊では、三原やっさ踊り振興協議会の方をお招きして練習を行なっています。はじめは、リズムに合わせて足の動きを練習し、その後、手の動きをつけて一斉に踊ります。み

んな、動作を一つずつ確認しながら一生懸命、練習に取り組んでいました。「前は難しかった、足と手を合わせる練習が少しできるようになってきた」「列をそろえることが難しかった。次の練習でも気を付けて頑張っていきたい」と感想を話してくれました。そして最後に「今年も大賞を取るぞ!」と意気込みを話してくれました。当日、11月4日が楽しみです。

「わくわく三原クエスト～歴史に触れる冒険の始まり～」中止のお知らせ

三原青年会議所が企画していた「わくわく三原クエスト～歴史に触れる冒険の始まり～」は、豪雨災害の被害を受けて中止とさせていただきます。この事業は、三原駅を中心とした市街地の散策を通じて歴史を肌で感じる体験

をしていただく内容でした。楽しみにされていた皆様には、大変申し訳ございませんでした。来年度以降も皆様に楽しんでもらえる事業を考えていきます。ご参加いただけますようお願い致します。



次号は 大草神楽こども研究クラブ 被災に負けず元気に活動 保護者のみなさまへ 三原青年会議所

やっさもっさチャンネル 絶賛放送中 毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。

【お問い合わせ】 一般社団法人 三原青年会議所 TEL 0848-63-3515 FAX 0848-62-1141 info@mihara-jc.com

子ども やっさもっさ 新聞 第15号

豪雨災害のその後 被災の本郷西小学校で始業式 支援への「感謝」と「優しい心」「頑張る心」で新学期

三原市内の中でも7月の豪雨災害による被害の大きかった地域のお友達が通学している本郷西小学校(本郷町南方)の始業式が、9月3日(月)に行われました。多くの生徒が元気に登校し、「感謝」と「優しい心」「頑張る心」を胸に、2学期のスタートを喜びました。

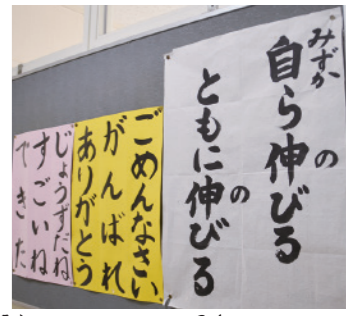


学校の授業は8月22日から再開していますが、給食センターも被害を受け、給食再開はいつになるかわかりません。そのため、給食のかわりに家族が作ってくれたお弁当を持ってきており、それをお昼に食べてから午後の授業に取り組んでいます。



始業式ではみんなで校歌を歌い、徳重宏美校長先生の話を聞きました。校長先生は初めに「7月の豪雨後、家族や友達は日本全国の優しい心に支えられ、いつもの生活が送れるように頑張ってきましたね。そのおかげで2学期がスタートできました」と話し、全国からの支援と生徒の力で学校を再開できたことに感謝。続いて「キラリと

光る宝を作り、自らのびる、共に伸びる本郷西小学校を目指すには、全国の皆さんからいただいた優しい心と合わせ、私たち自身の頑張る心が必要。頑張る心を持つ私たちが、自分から行動していきましょう。チャイムの時間が変わったりバスの出発時刻も変わるなどいつもと違う生活が続きますが、嬉しい、楽しい気持ちになれる学校をみんなで作りましょう」と呼びかけられました。生徒は笑顔でうなずきながら、またみんなと一緒に勉強や運動を楽しめる喜びをかみしめていました。



本郷は大きな被害を受けた地域ですが、生徒のみんなは力強く元気に明るく2学期をスタートしています。一日でも早く復旧・復興ができるようみんな頑張っていきましょう。

西日本豪雨災害から考える

特集

こころのケア

専門家に聞きました。

この度の災害で、三原でも多くの方が恐ろしい体験や悲しい思いをされました。直接的な被災をされていなくても、被災地の映像を見たり、聞いたりしたことで、心や気持ちに影響を受けています。

みんなも、少しでも不安に感じていることがあれば、家族をはじめ身近な大人に相談しましょう。

お子さまを心配される大人の皆さまへ

普段の生活では経験しないようなショックな出来事を体験した後、子どもの「心」「からだ」「行動」にさまざまな反応が現れます。元気そうに見えていても、時間が経ってから反応が出てくる場合もあります。以下は、子どもの「心」「からだ」「行動」の反応をまとめた表です。



復旧復興には、何よりも被災された皆さんのケアが大切だと考える三原青年会議所は、専門家である福島県 浜児童相談所 主任心理判定員の中島紀子さん(右)と児童福祉司の萩原慎也さん(左)のお2人に「こころのケア」についてお話しをうかがいました。

大人自身の回復も大切です。大人自身が回復することが一番大切です。復旧・復興に向けての作業などに追われ、ふとした瞬間に不安な気持ちになることもあると思います。心配や不安を抱えこまずに、周りの人に話して自分の気持ちを言葉にしてみましょう。気持ちを切り替えるために休養をとったり、気分転換を図るようにしましょう。からだを休めると心も休まります。お酒やカフェインの取り過ぎに注意し、食事や睡眠など生活リズムを一定にすることを心がけましょう。

私たち大人にできることは？

大人にできることは、子どもにとって安全・安心な環境を造ることです。食事・睡眠・運動などの生活リズムもできる限り以前と同じようにすることなどが大切です。子どものそばで一緒に過ごす時間を作り、話をよく聞いてあげて下さい。無理に災害の時に感じた気持ちを子どもから聞き出すのではなく、自分から話そうとするなど、子どもが聞いてほしいときやゆっくり聞いてあげましょう。

※広島県は、7月10日以降被災児童・生徒の心の支援として関係市町教育委員会等にスクールカウンセラーを派遣し、カウンセリングを実施しています。

今号の紙面は、豪雨災害での被害を受け「いつも読んでいただいている子どもの心に少しでも寄り添い元気になってほしい」という思いから、心のケアを中心に構成させていただきました。



①こころの反応 → ②からだの反応 → ③行動の反応

- ①こころの反応
 - 雨や水、雷、ヘリコプターの音を怖がる
 - 土の臭いを嫌がる
 - すぐ怒る
 - ぼーっとしている
 - ふさぎ込む
 - やる気がなくなる
 - 気持ちが不安定になる
- ②からだの反応
 - 発熱、頭痛、ぜん息、アレルギー症状がでる
 - 眠れない
 - 夜泣きする
 - くせが強くなる
 - 体調不良が続く
 - 吐気、下痢
 - 食欲がない
- ③行動の反応
 - 攻撃的、反抗的な言動をする
 - はしゃぎすぎる
 - 口数が減る
 - 危険な遊びをする
 - やたらと甘えてくる
 - 学校を休みたがる
 - わがまを言う

※これらの反応がでてくるのは強いストレスを受けた時の通常の反応です。



子ども

やっさもっさ

新聞 第16号

文化を 未来へ 大和町

大草神楽子ども研究クラブ 豪雨被害乗り越えた公演に感動の輪

大草神楽子ども研究クラブは、1978(昭和53)年に大和町(現三原市大和町)の大草小学校(現在、大和小学校に統合)の児童によって結成されました。「地域に伝わる伝統の神楽を守り、未来につないでいこう」との思いで活動されています。豪雨被害を受けた子どもたちの活動を応援したいという思いで取材させていただきました。



9月15日、大和認定こども園(三原市大和町下徳良)を会場に、大草神楽子ども研究クラブの公演が行われました。

同クラブは西日本豪雨災害によって神楽で使う大きな大蛇や音響機器など様々な道具が水害を受け、神楽を続けることが難しくなるほどの大きな被害を受けましたが、多くの人の協力で本番当日を迎えました。この日の演目は、「御神儀」(祭典に振りをつけたようなもの)、「八重垣」(スサノオノミコトが、八岐大蛇を退治してアメノムラクモノツルギを手に入れるという神話)の演目で、集まった園児や保護者の方を感動させ、拍手に包まれました。



6年生の花岡愛生君は、「道具がない中の練習で大変だったけど、良い本番ができて良かった。今後も思いを込めて神楽を舞い、楽しんでもらえるように頑張ります」と今日の公演ができた達成感と今後の目標を笑顔で話してくれました。



大草神楽子ども研究クラブさんの活動は多くの人に勇気や希望を与えてくれます。少しでも興味を持って活動を支えたいという方は同クラブ指導者の金川頭二郎氏(電話0848-62-5818 賀羅加波神社)までお問い合わせ下さい。

11月30・4日

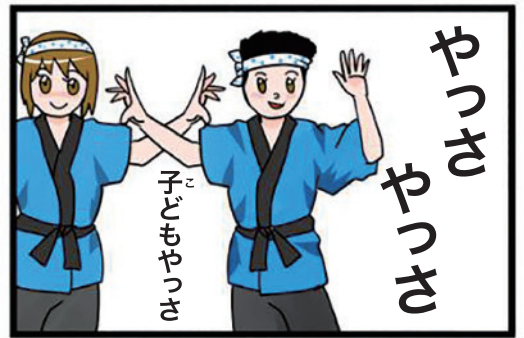


三原市非公認キャラクター 6 つかけくん

【作】怪人ふくふく

第43回 三原やっさ祭り開催

8月から延期していましたが三原やっさ祭りが11月3日(土)4日(日)に開かれます。今回は「復興祈願祭〜がんばろう!三原〜」をテーマに、第15回三原浮城まつり、三原臨空商工まつり2018と一緒に、3つの祭りが同時に開催されます。3日(土)には「がんばろう!三原復興花火大会」で二尺玉の打ち上げ、4日(日)のやっさ踊りには、NHK-Eテレのダンスキッズが糸崎小学校と共に参加します。三原小学校、南小学校、沼田東小学校からも踊りチームが参加予定。みんなで応援しましょう。豪雨災害からの復興祈願を目的としているので、一人でも多くの人にご来場いただき、三原のまちを元気にしていきたいと思えます。三原青年会議所も開催に向けて頑張ります。皆さんもぜひ会場に遊びに来て下さい。



みはらニュース 秋といえは?

秋と聞くと…食欲の秋?読書の秋?スポーツの秋?

いろいろありますが、紅葉狩りに行ったことはありますか?

紅葉を見て楽しむ習慣は奈良時代に始まったといわれ、「万葉集」にも登場しています。平安時代には貴族の間で広まり、紅葉を愛でる宴の様子が「源氏物語」にも描かれています。江戸時代には庶民も楽しむようになり、季節の行事として定着していきました。

では紅葉を見て楽しむことを「紅葉狩り」というのはなぜでしょうか?「狩り」は動物を捕まえることですが、「いちご狩り」「ぶどう狩り」のように花や果物を採り求めるという意味もあります。

さあ~今年の秋はこの知識を持ってみんなで紅葉狩りに一緒に出かけみてね。三原の絶好の紅葉狩りスポットも教えてください!

次号は 第43回三原やっさ祭り ほか お楽しみに!

保護者のみなさまへ

ご存知ですか「三原青年会議所」

「明るい豊かな社会の実現」を目指すべく、20歳~40歳の青年が集い青少年育成事業やリーダー育成のための研修事業などの活動を行なっているまちづくり団体です。

三原青年会議所

やっさもさチャンネル

絶賛放送中

毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になれます。

【お問い合わせ】

一般社団法人 三原青年会議所

TEL 0848-63-3515

FAX 0848-62-1141

info@mihara-jc.com

三原市皆実4丁目8-1

三原商工会議所2階

三原青年会議所

検索



子ども

やっさもっさ

新聞 第17号

三原市内 5チーム

復興願い「やっさやっさ!」 かけ声も元気いっぱい 拍手に包まれ感動の輪

三原特別支援学校たこみちゃん'S



今年8月に開催予定だった第43回三原やっさ祭りが平成30年7月豪雨災害によって延期されていましたが、11月3日(土)・4日(日)の2日間、JR三原駅周辺を会場に「復興祈願祭〜がんばろう! 三原〜」として開催され、三原青年会議所もお祭りの運営に関わりました。

秋晴れの澄み渡るような空のもと、第43回三原やっさ祭りが開催されました。オープニングセレモニーでは、昨年度の第42回やっさ祭りで子どもやっさ大賞を受賞した三原小学校レインボー隊がステージに上がり優勝旗を返還後、金色の大うちわを受け取りました。三原小学校4年生の近藤大翔くんは「豪雨災害で被害を受けた人に元気になってもらえるよう精

いっぱい踊ります」と意気込みを話してくれました。



今年はお出場チームも少なく、大賞を決める審査もありませんでしたが、三原特別支援学校、三原小学校、南小学校、糸崎小学校、沼田東小学校の元気な生徒の参加がやっさ踊りを盛り上げました。

三原小学校 三原小学校レインボー隊



南小学校 南小レッドスターズ





みんなで参加できるやっさ祭り

やっさ踊りは、今から451年前に小早川隆景公による三原城の築城を祝って、民衆が老若男女を問わず、三味線、太鼓、笛などを打ち鳴らし、思い思いの歌を口ずさみながら踊ったのがはじまりと言われています。

やっさ踊りは足の動きに特徴のある踊りで、「足の踊り」ともいわれています。おはやしのリズムに合わせてみんなで踊れる、楽しい踊りとなっています。やっさ祭りにはやっさ踊りが欠かせません。掛け声の「やっさもっさもっさやっさやっさ」の「やっさもっさも」には、みんなが集まって大騒ぎするという意味があります。今年は出場できなかった学校も、ぜひ来年は参加してみてください。

ズムに合わせてみんなで踊れる、楽しい踊りとなっています。やっさ祭りにはやっさ踊りが欠かせません。掛け声の「やっさもっさもっさやっさやっさ」の「やっさもっさも」には、みんなが集まって大騒ぎするという意味があります。今年は出場できなかった学校も、ぜひ来年は参加してみてください。



保護者の皆さまへ～1年間のご愛読、まことにありがとうございました～

「子どもやっさもっさも新聞」を昨年度より創刊して三原市内の小中学生に配布しております。今年度は、郷土を愛する子どもの育成をテーマに紙面を作成してまいりました。一面で各学校の取り組みや、地域と共に活動する子どもたちの様子などを取材させていただきました。紙面を通じて三原のまちへの愛着を少しでも深めていただけたとすれば幸いです。1年間ご愛読いただきありがとうございました。



保護者のみなさまへ ご存知ですか? 「三原青年会議所」

「明るい豊かな社会の実現」を目指すべく、20歳～40歳の青年が集い青少年育成事業やリーダー育成のための研修事業などの活動を行なっているまちづくり団体です。

三原青年会議所
やっさもっさもチャンネル
絶賛放送中
毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になれます。

【お問い合わせ】
一般社団法人 三原青年会議所
TEL 0848-63-3515
FAX 0848-62-1141
info@mihara-jc.com
三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所2階
三原青年会議所 検索